

公益財団法人日本バスケットボール協会
平成24年度 第8回理事会 議事録

日 時：平成24年10月10日(水) 13:00～14:40

場 所：KKRホテル熱海 会議室

出 席：<理事>

麻生太郎会長、深津泰彦、丸尾充、梅野哲雄の各副会長、樋口隆之専務理事、伊藤信明、大神訓章、大山妙子、熊谷秀樹、坂本昌彦、佐古賢一、佐々木三男、庄司義明、鈴木秀太、高橋雅弘、田窪徹、野村俊郎、原田茂、堀井幹也、吉田長寿の各理事

<監事>

高原洋太郎、山崎均の各監事

<特任委員>

内山英司、小倉恭志、片山正明、西井歳晴、林直樹の各特任委員

欠 席：品田奥義、福井晴次、水谷豊、吉田利治の各理事、松岡憲四郎監事、上島正光特任委員

議 題

- (1) 報奨金について
- (2) 平成25年度競技日程について
- (3) 大会要項について
- (4) クリニックキャラバンについて
- (5) 平成25年度 男女日本代表国際親善試合 開催地公募について
- (6) FIBA ASIA女子選手権大会 開催地公募について

1. 定足数の報告

堀井理事より出席者数の報告があり、定款32条に基づき、理事現在数(24名)の過半数の出席数(出席:20名)を満たすため、会議成立が宣せられた。

2. 挨拶

麻生会長より開会の挨拶があった。

3. 議事

定款に基づき、議長は会長が務め、会長の指名により深津副会長が会議の進行を行った。

(1) 報奨金について (樋口専務理事)

「第21回FIBA ASIA U-18女子選手権大会」において準優勝となり、来年行われるU-19世界選手権の出場権を獲得した日本代表スタッフおよび選手に対し、報奨金規程に基づいて報奨金を授与することが提案され、原案通り承認された。

また、報奨金規程については、対象の大会や金額など今後見直しを行う予定であることが補足された。

<承認>

(2) 平成25年度競技日程について（庄司理事）

平成25年度に開催する国内全国大会等の競技日程について、原案通り承認された。

<承認>

(3) 大会要項について（庄司理事）

次の2大会の大会要項が提案され、原案通り承認された。

・「東日本大震災」被災地復興支援 第26回都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会

（ジュニアオールスター）

・「東日本大震災」被災地復興支援 第44回全国ミニバスケットボール大会

また、ジュニアオールスターについては、前回大会に引き続き男子は7号球を利用することが補足された。

<承認>

(4) クリニックキャラバンについて（吉田(長)理事）

エグゼクティブパートナー制度の導入に伴い、今後の事業戦略の一つとして掲げていたバスケットボールクリニック・キャラバンについて、具体的な企画概要および実施計画が資料に基づいて提案された。こどもたちにバスケットボールの楽しさを教える教室「バスケキッズキャラバン(仮称)」として、小学生やその保護者および指導者に向けたカリキュラムを作成し、来年度までに全47都道府県での開催、5年後には一つのコンテンツとしての事業化を目指して進めていくことが説明され、承認された。

<承認>

(5) 平成25年度 男女日本代表国際親善試合 開催地公募について（吉田(長)理事）

来年度開催する男女日本代表国際親善試合について、各都道府県協会から開催希望を募るための開催地募集要項が提案され、原案通り承認された。

<承認>

(6) FIBA ASIA女子選手権大会 開催地公募について（吉田(長)理事）

2013年、2015年のFIBA ASIA女子選手権大会の国内招致にあたり、各都道府県に開催地の公募を行うことが提案され、承認された。

<承認>

4. 報告事項

(1) 一般報告（堀井理事）

2012年9月の諸会議等の開催実績が報告された。

(2) 総務部（堀井理事）

次回理事会は11月14日の開催予定であることが報告された。また、チーム加盟数・競技者登録数の進捗

状況が報告された。さらに、各委員会の組織構成および主な業務内容と10月～12月にかけてブロック連絡会を開催する予定であることが報告された。

(3) **事業戦略部** (吉田(長)理事)

現在各部門でそれぞれ行われている出版や映像制作について、総務部を中心とした管理体制をとっていくこと、また、今年度の計画としてU-12対象の指導用DVDの制作を行う予定であることが報告された。

(4) **新リーグ運営本部** (丸尾副会長)

各チームと定款等の詰め作業を行っていること、熊本のチームが10月11日に運営会社設立の記者発表を行うことなど現在までの進捗状況が報告された。

(5) **競技会委員会** (庄司理事)

ウインターカップおよびオールジャパンについて、実行委員会を中心に準備を進めていることが報告された。尚、オールジャパンについてはNHKでのテレビ放送の関係で日程調整中であることが報告された。

また、「第67回国民体育大会」、「第4回FIBA ASIAカップ」、「第21回FIBA ASIA U-18女子選手権大会」の大会結果が報告された。

(6) **国体委員会** (野村理事)

岐阜国体では地元の岐阜県が種目別天皇杯を獲得したこと、国体期間中に国体委員会のメンバーで課題の検討を行ったこと等が報告された。

(7) **普及・登録推進委員会** (坂本理事)

登録者数100万人を達成するためには、それぞれのセクションと協働した取り組み、また47都道府県協会の理解が必要であり、未登録者の対応、学校体育への取り組みなど具体的な施策を提案しながら、競技者だけでなく、審判、指導者も含めた登録者の増大に向けて進めていく方向であることが報告された。

また、あわせてミニ連盟での取り組みとして、プレイする仲間や関係者への感謝の気持ちをもってプレイすることの大切さと素晴らしさを伝えるため「ありがとう リスペクト」キャンペーンの実施を始めたことが紹介された。

(8) **国内競技日程検討委員会** (吉田(長)理事)

国際競技日程を踏まえた上で、国内でのバスケットボールの普及・育成・強化につながるための国内競技日程を再考し、具体的な方針を提案することを目的として委員会活動を進めていくことが報告された。

(9) **FIBA ASIA関係** (樋口専務理事)

FIBA ASIAのサブコミッティーの一つであるテクニカルコミッティーに東アジア連盟からの推薦で橋本信雄氏が選任されたことが報告された。尚、東アジア連盟からの推薦者の決定にあたり、日本に事前連絡がなかったこと、それについて手順の不備を東アジア連盟に申し入れを行ったことが報告された。

以上